

県立普通科高等学校通学区域全県一区制度の検証の進め方について

1 検証の経緯

県立普通科高等学校の通学区域全県一区制度は、多様化する生徒のニーズに対応し自分に合った高校を主体的に選択できるようにするとともに、特色ある学校づくりを一層推進することをねらいとして、平成18年度に導入しました。制度導入後10年が経過したことを契機に、県教育委員会として、平成28年度に制度の検証をすることとしました。

2 検証の視点

中学生の主体的な高校選択や特色ある学校づくりの状況に加えて、学校選択上の影響、学校生活への影響、学校と地域の関係などについて検証します。

3 検証のスケジュール

8月	県議会常任委員会 検証の進め方説明
8月～	市町教育委員会、学校等への聞き取り
10月～	有識者からの意見聴取
12月	県議会常任委員会 検証の中間報告
3月	県議会常任委員会 検証結果の報告

※ 校長、生徒、保護者、私立中学校高等学校関係者等からアンケートも含めて聞き取りを行います。

※ 有識者（学識経験者や関係機関代表等）からも、中学校卒業後の進路状況や市町教育委員会等への聞き取り内容を踏まえて、幅広く意見をいただきます。